

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I.理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 充分にできている ② B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	事業所理念を掲げて実践し、定期的に振り返りを行い、共有をしている。今年度は認知症の方に対しての自立支援に力を入れている			会議でご利用者の自立を妨げる行為がないか報告をし自立支援に対する職員の共有意識をもちケアの向上を目指したい
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	A. 充分にできている ② B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	地域との関わりが希薄であったが、今年度より町内会への加入。町内行事への参加を はじめこれを機に関りが増すようにする	グループホームを知っていただけるようホーム側からの発信をし地域でも活用していただける場にしたい。地域・町内の情報を収集するとともに可能な限り行事ごとへの参加をしたい		町内会長さんをはじめ近郊への働きかけ(運営推進会議の参加や施設を見学頂くなど)を行いたい
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 充分にできている ② B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	意見の聴取を行い、議事録の送付を行って、できる限り意見を反映できるように努めている	ホーム運営状況や企画など様子の報告。目標に対する取り組み・感染予防対策・防災対策について実施状況報告		
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	① A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	運営推進会議の議事録や事故の報告にて担当者と直接かわりを持っている。その時に問題等あれば共有している	運営推進鍵を通じて評価・報告・身体拘束ゼロに向けての意見をいただく		
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	① A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	身体拘束については話し合いを行うとともに法人内部の研修にも参加し禁止事項を月ごとに周知、実践をしている		① A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご利用者の行動制限をかけないよう振り返りや共有を職員同士で行い適切に取り組みを継続する
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	① A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	法人全体で研修の機会を設け、不適切なケアがなかったか振り返りを行い、事業所内で共有を行っている		① A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	不適切なケアは何かを、また、自立を阻害することも拘束であると考え毎月振り返りを継続したい
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている ③ C. あまりできていない D. ほとんどできていない	法人で研修の機会はあるが事業所での周知は不十分なところがあるが、今後継続して職員指導に努める			

8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	不安ごとや疑問、契約の改定時などの説明などは面会時や電話での説明を行っている			
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	運営推進会議に代わる書面での意見の聴取を行っており、その際に議事録により回答しできる限り意見が反映されるよう努めている		☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	平日ではない曜日開催も検討したい
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎月1・2回カンファレンスを行い、意見等を聞きできる限り反映できるようにしている			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	年に2回評価し面談をする機会を設け職員のモチベーションアップに努めている		A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	各ユニットでの稼働ではなく事業所全体での協力体制に努め職員同士が交流しやすい環境づくりを意識していきたい
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	法人内の研修についてはとても活発に行われているが外部への研修についてはあまり参加できていない		A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	外部研修に参加、各自己研鑽や技術取得によりサービスの質の向上につなげたい
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	A. 充分にできている B. ほぼできている ☒ C. あまりできていない D. ほとんどできていない	外部に向け地域に向け渉外活動などを始めている。内部では法人内事業所見学会などがおこなわれているが参加等には至っていない			今後、地域事業所や委員会の方々と情報交換や会議参加など積極的に交流に機会を持ちたい
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家事やホーム内の飾りつけなどの作業を職員と一緒にやり、暮らしを共有している意識を持っていただけるよう工夫をしている			
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご家族以外の面会が増えている。利用者さんの想いに添えない部分もあるが工夫をしながら声を聴くように努めている	コロナにより規制解除に伴いご家族をはじめ、親戚・友人・同僚などの面会が増えている		

Ⅱ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント							
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	☐ A. 十分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	聞き取ることのできる思いについてはできる限り反映できるように努めている。認知症の方の理解ができるよう毎月勉強会を行っている			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	☒ A. 十分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	本人や家族さんはもちろんのこと、医療職から意見を聴取して介護計画に反映できるようにしている。モニタリングにおいてカンファレンスで意見交換をおこないケアやご利用者の思いについて再アセスメントを行っている	自立支援について考察・検討をしているが、直面する課題意識が強くまだ、真のニーズや生活向上といったことにつなげられていない	☐ A. 十分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	☒ A. 十分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	記録に記入することと、ケアカンファレンスの実施により共有や見直しを行っている。申し送りでも工夫をして、全員が共有できるようにしている		☐ A. 十分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	☐ A. 十分にできている ☐ B. ほぼできている ☒ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	既存のサービスによることが多い。なかなか柔軟な対応が出来ていない改善に努めていきたい	コロナ禍でニーズに対して課題意識の低下、代替え・画一的な支援の状況があった。また、出来ていない取り組みが多くある		
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	☐ A. 十分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	ホーム内での力の維持・発揮は行うようにしている。個別性に合わせ地域行事に参加が出来るよう支援をしている	個々のアセスメントを行いそれぞれに合わせた社会資源場を活用する・ボランティアの受け入れやご利用者による地域イベントとの参加できるようにしたい		
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	☐ A. 十分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	医療連携については医療職との情報の共有をしっかりとできている。日々の状態を観察して適切な医療を検討している			
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	☒ A. 十分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	入院先の相談員と積極的に連絡を取りながら適切な時期で退院が出来るようにしている		☒ A. 十分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明し	☒ A. 十分にできている ☐ B. ほぼできている	契約時に説明を行い、時期が来たら往診医や看護師を交えて重度化や終末期のあり方について話をしている。		☒ A. 十分にできている ☐ B. ほぼできている	

		ながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	C. あまりできていない D. ほとんどできていない			C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	法人研修に参加、カンファレンスの中で実践力を養うようにしている。ベテランの職員の過去の経験から特変時の初期対応についても共有している			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	火災・地震・風水害についてはマニュアルを作成し、訓練を通じて備えている。地域との連携について強化が必要である	・2か月ごとに自主的に防災訓練に取り組んでいる ・消防職員を交えて訓練の実施をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者の個性を尊重して、個別的なケアができるようにこころがけ、適切な言葉かけができるようにしている		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ケアプランを活用し、本人の暮らしの意向やペース等を共有しながらできる限り職員の都合を優先しないこと自立ケア視点を置いている			自立につなげる行為がないかカンファレンスでの共有・報告しご利用者様が主体的・意欲的に自立への取り組みができる支援を目指したい
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	食事の調理や盛り付け、片付けなどを利用者さんと職員と一緒にしている。調理レクリエーションにも取り組みを始めている		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の習慣や活動量を観察しながら摂取量などを考えながら水分量に関しては1日1リットルを最低限の目安として摂取してもらっている			
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎日、1日3回食後に口腔ケアを行い、1週間に1度、希望者には専門職による医療とケアを受けてもらっている		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	

31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	食事などを工夫や往診医や訪問看護師と相談しながら排便のコントロールを行っている。トイレでの排泄が継続出来るよう取り組みをおこなっている		☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入浴できるタイミングを見ながら声をかけている。嫌がられる時は無理強いせず、違う方に入ってもらうなどしている			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	身体状況やその時々で臥床をしたり、ソファでくつろいでもらう時間を作ってもらい休息を促している			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	薬が届いたときに用法を薬剤師から説明を受け確認すると同時に薬情を確認して薬の効果等も確認を行っている		☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	大勢での行事は満足に行えていないが、日々のレクリエーションや買い物や近郊への外出や外気浴を行っている	・四季に合わせた企画を通じ、作品づくりや食事づくりを行うほか視覚や嗅覚でも楽しんでいただけるよう季節の料理などの提供には力を入れている		
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	外出については、日によって対応できない事がある。希望が聞かれた際には外出に向けかご家族との協働をしながら実施に向け話し合いを行っている。敷地内の外気浴等は都度の希望時に可能な限り対応している	・天候やホーム状況により実施が出来ていない ・生活の中で心身機能低下防止や自立した生活を送ることがご利用者の QOL につながることを踏まえ個々の達成目標を明確にし実現させることが求められている		
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている ☒ C. あまりできていない D. ほとんどできていない	金銭管理は基本行ってもらっていない。購入を希望されるときには、家族さんに確認を行い、立て替えて購入できるようにしている			
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人からの申し出がある場合はすぐに電話をしてもらい、家族さんに対しても希望がある時は本人にかわりやり取りをしてもらっている			

39	居心地のよい共用 空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自力で歩行ができる方に関して、家具等で工夫をしている。季節感については職員が手作りをして季節ごとの飾りや生花を置いて居心地のよい環境づくりに努めている		☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
IV. 本人暮らしの状況把握・確認項目（利用者一人ひとりの確認項目）							
40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	☒ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人との関りを大切にして、思いを聞き取り、少しでも意向に沿ったケアができるように心がけている			ご利用者による意思決定が出来るよう支援をおこなっていききたい
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができる	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	会話の中で家族さんの話をされたり、昔の写真を見ながら昔話をしたりしている			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができる	☒ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々の状況記録をもとに職員だけでなく、関係職種とも共有し、できる限り希望に沿ったケアが行えるように努めている		☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	☒ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	共同生活の中で自身のペースでの暮らしが実現できるように、場面ごとの優先順位を考慮してケアを行っている			
44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近（自室等）に持つことができている	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家族の協力も得ながら、なじみの物や季節の服着てもらったりしながら生活してもらっている		☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催（祭）事に参加することができる	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている ☒ C. あまりできていない D. ほとんどできていない	現在、大きな催事ごとには参加出来ないが今後積極的に取り組みたい	・ご利用者一人一人の生活歴やご家族とも協働すること ・個々に合わせた催事に参加できるようアセスメントが重要である		

46	本人が持つ力の活用	本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家事の場面で役割を持ってもらったり、入居者が困ったときなどに一緒にかわってもらうなどをしてもらっている			
47		本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人がいきいきできることは何かを考えながら、日々その場面が出せるように工夫を行っている		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ過があけたこと、今年度より町内会に参加となり、以前より課題であった地域や近隣との交流について検討したい			今年度より町内会に参加となり、以前より課題であった地域や近隣との交流について検討したい
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員と利用者さんとの信頼関係が見える。ボランティアの介入や今後、地域との関りも増やして、利用者さんの生活に幅がでるようにしていきたい	・ご本人の尊厳保持や安心していただけることは何か？を考え自立した生活ができる支援を行いたい	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	GH で安心しながら地域と共に共生しながら過ごせるように支援を行いたい